

<2018年1月25日発表>

～西鉄ホテルグループ 新たな地域に進出～ 台湾(台北市)に初出店いたします！

- 西日本鉄道(株)では、新たなホテルの海外展開として台湾・台北市に宿泊主体型アップグレードホテル「ソラリア西鉄ホテル台北西門(仮称)」を出店いたします。
- 当社では、長期ビジョン「にしてつグループまち夢ビジョン 2025」の中で、ホテル事業における①国内外合わせて40店舗(10,000室)の展開 ②売上高400億円 ③海外売上高比率30%を目標に掲げております。台湾への進出は、2015年と2017年に開業した韓国・ソウル明洞、釜山、2020年開業予定のタイ・バンコクに続いて海外4店舗目となり、台湾出店によりホテル全体で23店舗、約5,900室体制までの拡大を予定しております。
- 台湾は実質GDPが毎年2%前後で伸びており、輸出・民間消費の拡大などにより、今後も経済成長が見込まれています。また、親日として知られており、2016年には190万人の日本人が訪れるなど、身近な海外として人気が高い地域です。なかでも台北市は、台湾に進出している日系企業の約7割が拠点を置くなど経済の中心となっているほか、台湾の玄関口として多くの観光客で賑わっています。
- ホテル計画地は台北市の商業集積地である西門町(シメンテン)に位置しています。西門町は“台湾の原宿”と呼ばれ、衣料雑貨店や飲食店が立ち並ぶほか、その時々旬な店舗が集積するなど、台北で最も集客力があるエリアのひとつです。交通アクセスにも優れており、台湾の中心地であるMRT台北駅へ1駅のMRT西門駅まで徒歩圏内にあり、ビジネスや観光など様々なニーズのお客さまに対応したエリアです。
- 当ホテルは、再開発により新たに建て替えられるビルの地上1階の一部および6階から28階までを賃借して出店いたします。ダブル、ツイン、トリプル、プレミアムルームなど約300室をご用意し、日本人観光客やビジネスパーソンだけでなく、台湾内やアジア各国のご旅行のお客さまに日本のおもてなしを感じていただけるよう、日本式のサービスと設備を提供いたします。台湾にある日系ホテルにはない宿泊主体型アップグレードホテルであることや、日系ホテルがない西門町で“日本式”をアピールすることで、周辺ホテルとの差別化を図ります。
- 当社では、今後も国内外問わず着実な店舗展開を推進し、収益基盤の拡大に努めてまいります。

■「ソラリア西鉄ホテル台北西門(仮称)」の概要

- 【名称】ソラリア西鉄ホテル台北西門(仮称)
- 【所在地】台北市万華区福星段二小段149地号
※建設予定の再開発ビル(地下5階～地上28階)内
地上1階の一部および6階から28階
- 【出店形態】賃借
- 【賃借面積】約5,000坪(専有部分)
- 【客室数】約300室
[タイプ]ダブル、ツイン、トリプル、プレミア
[広さ]22～36㎡程度
- 【フロア構成】1階 ホテルエントランス
6階 ホテルフロント・ラウンジ
7階 レストラン・客室
8～28階 客室
- 【投資額】約6億円
- 【開業時期】2023年夏(予定)
- 【その他】所有する台湾土地銀行とは2017年12月28日(木)に基本合意を結んでおり、2018年3月末に賃貸借契約の締結を予定しております。

外観イメージ



■「ソラリア西鉄ホテル台北西門(仮称)」の特徴について

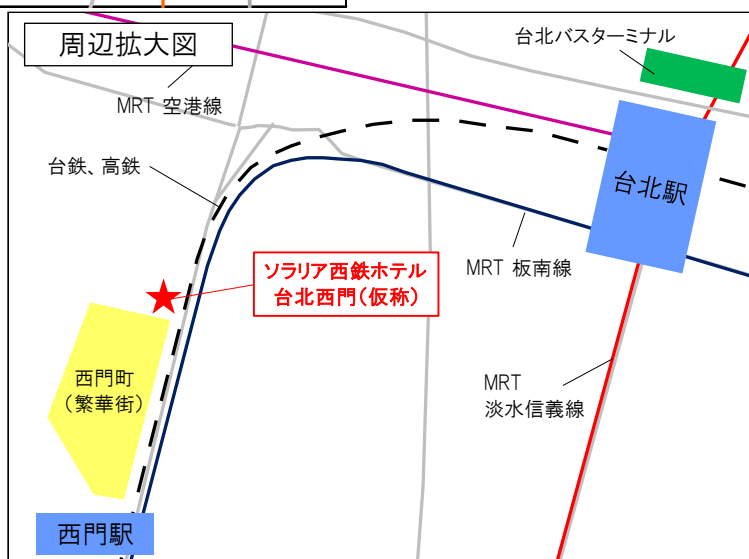
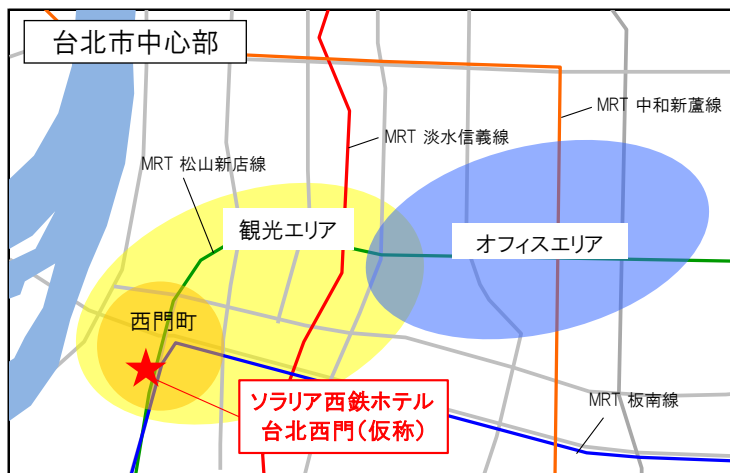
【ターゲット】 日本人観光客やビジネスパーソン、台湾内やアジア各国からの旅行者

【立地】 ○台湾トップクラスの商業集積地である「西門町^{シメンティン}」に位置
《西門町^{シメンティン}》

- ・「台湾の原宿」と呼ばれ、衣料雑貨店や飲食店、その時々旬な店舗などが集積
- ・性別・年齢問わず台北で最も集客力のあるエリアの1つで、トレンドの発信地

○MRT「西門駅」まで徒歩4分、MRT「台北駅」まで徒歩15分

○平日の夜、休日に歩行者天国になる繁華街に隣接



【眺望】 ○ホテル計画地周辺には低層階の建物が多く、ホテル中高層部分の視界を遮る建物がないため、眺望もお楽しみいただけます。

■ 賃借予定の再開発ビルについて

【建物構造】 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下5階、地上28階(高さ約120m)

【敷地面積】 約520坪

【延床面積】 約9,000坪

【用途(予定)】 地下1~5階 駐車場
1~4階 商業
5階 機械室
6~28階 ホテル

【着工日】 2019年2月予定

(参考)西鉄ホテルグループの店舗一覧(2018年1月25日現在)

【ブランド】 GRAND、SOLARIA、CROOM、INN の4ブランド

【店舗数】 国内19店舗、海外4店舗(開業予定含む)



海外ホテル

